

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～

2021年7月16日
県立長野図書館

使命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、
信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、
個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的な普遍的な価値を支えるため、
人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

展望 (Vision)

- ① 「知る」・・・情報の改革：いつでもどこからでも、時間と空間を越えて、すべての人々が等しく情報を入力し、活用し、成果を発信できるよう、人生を豊かにする創造的な学びの情報基盤を整え、情報格差を解消し、次世代へと継承していきます。
- ② 「出会う」・・・場の革新：考え、対話し、体験することを通じて獲得できる「実感ある知」の循環を生み出し、新しい価値を創り出すために、実空間と情報空間が融合する、開かれた場を形成します。
- ③ 「育む」・・・人の変革：いかなる社会変化にあっても、「知る自由」「学ぶ自由」を保障する図書館の本質的機能を、技術革新を取り入れながら最適化し、最大限活用できる人づくりに貢献します。

行動指針 (Value)

- ① 協働します：(Collaboration コラボレーション)
県内外の図書館や各種の文化施設・社会教育施設を始め、広く教育・学術界、産業界や社会的活動を行う人々と力を合わせます。
- ② 接続します：(Connecting コネクティング)
さまざまなコミュニティや人々が信州の自然や社会の営みの中で日々生み出す、「現場にある知」、「暮らしの中の知」を、つなぎ合わせます。
- ③ 強みを生かします：(Competency コンピテンシー)
図書館の普遍的な役割である資料・情報の収集・保存・発信・活用について、専門的な知識・スキル・マインドを持つ職員を育成し、強みを生かして社会に貢献します。
- ④ 挑戦します：(Challenge チャレンジ)
市町村や公共図書館等の取組を下支えし、展開するとともに、自ら先進的なサービスを実験・実践することを通じて、人々と共に成長し、変化に強い図書館づくりに挑戦しつづけます。

2 取組方針

図書館の位置づけ

『しあわせ信州創造プラン 2.0 ～学びと自治の力で拓く新時代～ 長野県総合 5 か年計画』

【総合的に展開する重点政策】

学びの県づくり 生涯を通じて学べる環境の整備

- 図書館や公民館を活用し、多様な価値観を持つ人々が集まり、影響し合い新しい社会的価値を創ることができる場や機会の提供
- 図書館・美術館・博物館・学校などの地域における学びの場や、ICT を活用した学びのネットワークの構築を検討

産業の生産性が高い県づくり 革新力に富んだ産業の創出・育成(起業・スタートアップへの支援)

- 多様な人々が共創する草の根イノベーションが生まれる環境づくりを県内の図書館や公民館などと連携して進め、地域の課題に対処するソーシャル・イノベーションの取組を促進

第 3 次長野県教育振興基本計画

【基本理念】「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり

【重点政策】

「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり

社会教育施設を活用した、創造的な学びの場や機会の提供

- 県立図書館を中心とした多様な情報や人がつながり、アイデアを形にしていける「知と創造の場」としての図書館づくり

【政策】

学びの成果が生きる生涯学習の振興

- 信州にまつわる情報資産の収集保存を強化
- 県立図書館と市町村立図書館とが連携して、情報活用能力の向上に資するプログラムを実施
- 県立図書館を中心に多様な情報や人をつなぎ、「みんなの学び」を推進していくモデル空間を整備

計画に沿って取り組む

令和 4 年度取組方針

1. **資料・情報**：いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信する情報基盤を進化させ、蔵書構成のあり方を総合的に見直します。
2. **空間・場**：実空間である図書館の 1 ～2 階のフロア、3 階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、知的活動が展開・循環する「場」を進化させます。
3. **人材育成**：潜在的な利用者を含めた、全ての県民の学び合い・知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。
4. **長野県 eLibrary 計画**：図書館の機能を「紙」と「デジタル」、「館内」と「館外」の軸で 4 つのカテゴリーに分類し、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進め、図書館機能・サービスを進化させます。「信州 ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスの新規導入の検討を重点的に進めます。

3 主要事業計画

(1) 資料・情報

- ア 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」とを戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担を行いつつ、蔵書構築のあり方を見直す。
- イ 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に着けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。
- ウ 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

- ア 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。
- イ 試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。
- ウ 実空間と情報空間を融合させ、ICT を利活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。
- エ 図書館を「新しい出会いと発見が促される場」と捉え、1 階児童図書室・2 階一般図書室における「新しい発見・学び」のプログラムを展開する。

(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

- ア 地域の情報センターとしての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。
- イ 県民の学びを創発する機会として「図書館フォーラム」等を開催する。
- ウ 長野県における知と学びに関わる各種機関が、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。
- エ 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。

(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

- ア 図書館機能の高度化の方策として、目録のデジタル化、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、コンテンツの電子化を強化し、これらを使いこなす学びのネットワーク化を推進する。
- イ 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、レファレンスで多用する資料を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。
- ウ 災害時でも学びが継続できる手段を確保し、図書館利用の地域的・身体的なバリアフリー化を実現するために、ICT による付加価値のある学びのコンテンツとして、「電子書籍サービス」を導入する。

令和4年度 主要事業実施状況（修正版）

県立長野図書館（2023/03/02）

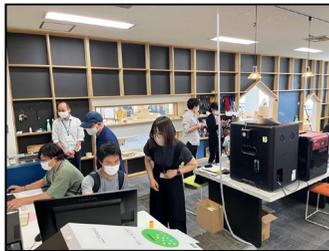
主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
<p>（1）資料・情報</p> <p>（ア）長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」を戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担を行いつつ、蔵書構築のあり方を見直す。</p> <p>（イ）利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に付けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。</p> <p>（ウ）情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【蔵書整理休館期間中に行った書庫内の配置見直し】</p>	<p>（ア）電子書籍の導入に伴い、「収集方針」及び「選定基準」について必要な改訂を行なった。</p> <p>県立長野図書館単独の電子書籍閲覧サービスを導入した。また、「市町村と県による協働電子図書館」（デジとしよ信州）を開始した。（いずれも令和4年8月）</p> <p>地域資料収集の取組みとして、古書の流通情報を調査し、所蔵のない地域資料（郷土資料）や複本の確保に努めた。</p> <p>書庫2階で保存している雑誌について、利用状況・今後の増加予想をもとに令和4年5月の蔵書整理休館期間中に配置の見直しを行なった。</p> <p>（イ）令和4年度の調査相談件数（簡易なものを除く）は、前年度の約1.2倍に増加した。引き続き調べ方を伝える丁寧な調査・相談に努めたい。</p> <p>【実績】 令和4年度（R5.1月末現在） 413件 令和3年度（R4.1月末現在） 346件</p> <p>（ウ）令和4年度の相互貸借の状況は、令和3年度と同程度となっている。また、インターネット貸出は令和5年1月末までの貸出件数・冊数が令和3年度年間をすでに上回っている。</p>

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

(ア) 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。

(イ) 試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。

(ウ) 実空間と情報空間を融合させ、ICT を利活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。



【モノコトベース・オープンデー】



【ラボ・デザイン会議#11】



【Book-Book 交換会 #01】

(エ) 図書館を「新しい出会いと発見が促される場」と捉え、1階児童図書室、2階一般図書室における「新しい発見・学び」のプログラムを展開する。



【2階・一般図書室展示】

(ア) (イ) (ウ) 「信州・学び創造ラボ」の活用やコミュニティ促進を目的としたワークショップとして、以下のイベントを実施した。参加しやすさに配慮し、リアル×オンラインのハイブリッド開催を標準化した。

実施したイベント (R5.2月末まで)

《ラボ・デザイン会議》

#11 テーマ：「共知・共創」の輪をひろげよう

#12 テーマ：ラボでつながる、ラボとつながる

《ラボカフェ》

#15 モノカフIvol.2 (オンラインもくもく会)

#16 居場所をかんがえる会 高校生×図書館編

《モノコトベース》

オープンデー (9回)

オリジナルライブラリーカードワークショップ (47回)

《Book-Book交換会》

#01 マイ"推し本"を語って本を交換しよう!の会 (1回)

(イ) 社会科の授業の一環としての小学生の見学で、社会における図書館の役割や提供する資料の変化について、学びの流れを聞き取りそれに沿った案内を学齢に応じて行った。



【小学生による図書館見学】



【1階・児童図書室展示】

- ・ 児童図書室には、体験型の学びができるマイクロスコープ、観察材料を常設し、子どもたちが館内を巡って謎を解くスタイルの分散型プログラムを実施した。室内展示は、入口からの動線を意識しながら多様な問いかけ型の棚を構成し、利用者の探究心を引き出すための仕掛けを施している。
- ・ 感染症に対する社会の対応を注視しながら、変化する状況に対応する体験の再開、新たなプログラムの検討を始めた。各図書室と信州・学び創造ラボをつないだ展示・プログラムを展開する等、館全体に知の入口が広がる縦断的なタッチポイントの設計に取り組んだ。

(3) 各区域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

(ア) 地域の情報センターとしての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。



【レファレンス実習】



【林業士入門講座】

- (ア) 図書館職員の中堅研修に位置づける「これからの公共図書館研究会」について、引き続き4部門を設け、県内公共図書館関係者74名が会員登録し、計10回のオンライン研究会を開催した。
- 現場での課題を持ち寄り、研究・検討し、情報交換を行うフラットな場として定着している。オンライン開催方式により、フレキシブルで地域・立場を問わない積極的な参加が実現している。
- ・ サービス計画 15名 2回
 - ・ デジタル活用 17名 2回（1回は資料活用・レファレンスと合同）
 - ・ 学びのプログラム・学校連携 20名 2回
 - ・ 資料活用・レファレンス 24名 4回（予定）
- ・ 初任者研修（レファレンス実習）は、会場館として初めて手をあげていただいた図書館を中心に県内4地区で開催した。（軽井沢町、下諏訪町、松川村、県立長野）
- ・ 林業総合センターが実施する「林業士入門講座」との連携により、共知共創の場を認識し、地域の中で継続的に利活用していくためのリテラシープログラムの意義を確認した。（平成29年～）
 - ・ 社会教育主事講習において、「図書館を利用した学習支援法」を担当した。

(イ) 県民の学びを創発する機会として「図書館フォーラム」等を開催する。



【第1回『電子図書館、どう育てる?』】



【第2回『信州の「はたらく」を考える』】



【第3回『一緒に考えてみませんか
「地域に役立つ図書館って何だろう!?!」』】



【ウィキペディアタウン in おたり村】

(ウ) 長野県における知と学びに関わる各種機関が、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。

(エ) 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。

(イ) 「これからの公共図書館フォーラム」の新たな展開として、県内外、図書館界内外に開かれたテーマを計画、実施。サテライト会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催方式で、計 180 名ほどが参加した（延べ数）。

開催実績（R5.2月未まで）

第1回 『電子図書館、どう育てる?』

～本の「つくり手」と「よみ手」をつなぐために、私たちができること～』

第2回 『信州の「はたらく」を考える』

第3回 『一緒に考えてみませんか「地域に役立つ図書館って何だろう!?!」』

(ウ) 「信州・知の連携フォーラム」第6回を実施（当番：長野県立美術館）（テーマ：「資料のデジタルアーカイブ化と公開について-松澤宥アーカイブの信州デジタルコモンズでの公開を事例に-」）。イベント後の関係者会議で今後の方向性として、協力体制の継続を確認した。

(エ) 北信、中信、佐久地区の公共図書館連絡会および研修会に出席し、オブザーバー、講師等を務めた。松本市の公共図書館・学校司書合同研修会では講師として、学校連携に関する情報提供を行った。長野県学校図書館協議会北信地区司書学習会で電子図書館の現状と学校図書館活動への展開について情報提供を行った。

- ・ 白馬村図書館協議会、及び図書館等複合施設検討委員会にアドバイザーとして、佐久市立図書館建替再整備検討委員会に委員として参加した。
- ・ 北アルプス地域振興局による「ウィキペディアタウン in おたり村」を共催し、企画・運営への協力、講師派遣を行った。

(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

(ア) 図書館機能の高度化の方策として、目録のデジタル化、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、コンテンツの電子化を強化し、これらを使いこなす学びのネットワーク化を推進する。

(イ) 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、レファレンスで多用する資料を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。



【信州ナレッジスクエア / eReading Books】

(ウ) 災害時でも学びが継続できる手段を確保し、図書館利用の地域的・身体的なバリアフリー化を実現するために、ICTによる付加価値のある学びのコンテンツとして、「電子書籍サービス」を導入する。



【市町村と県による協働電子図書館
「デジとしょ信州」】



【県立長野図書館電子書籍サービス】

(ア) 外部委託によりデジタル化を実施した当館資料108点について著作権調査を実施。保護期間の満了が確認できたものから公開を行う予定。今後のデジタル化についても、優先順位をつけて取り組んでいく。

- ・ 商用データベースの提供について、利用状況に合わせて見直しを行った。引き続き、利用促進が課題である。

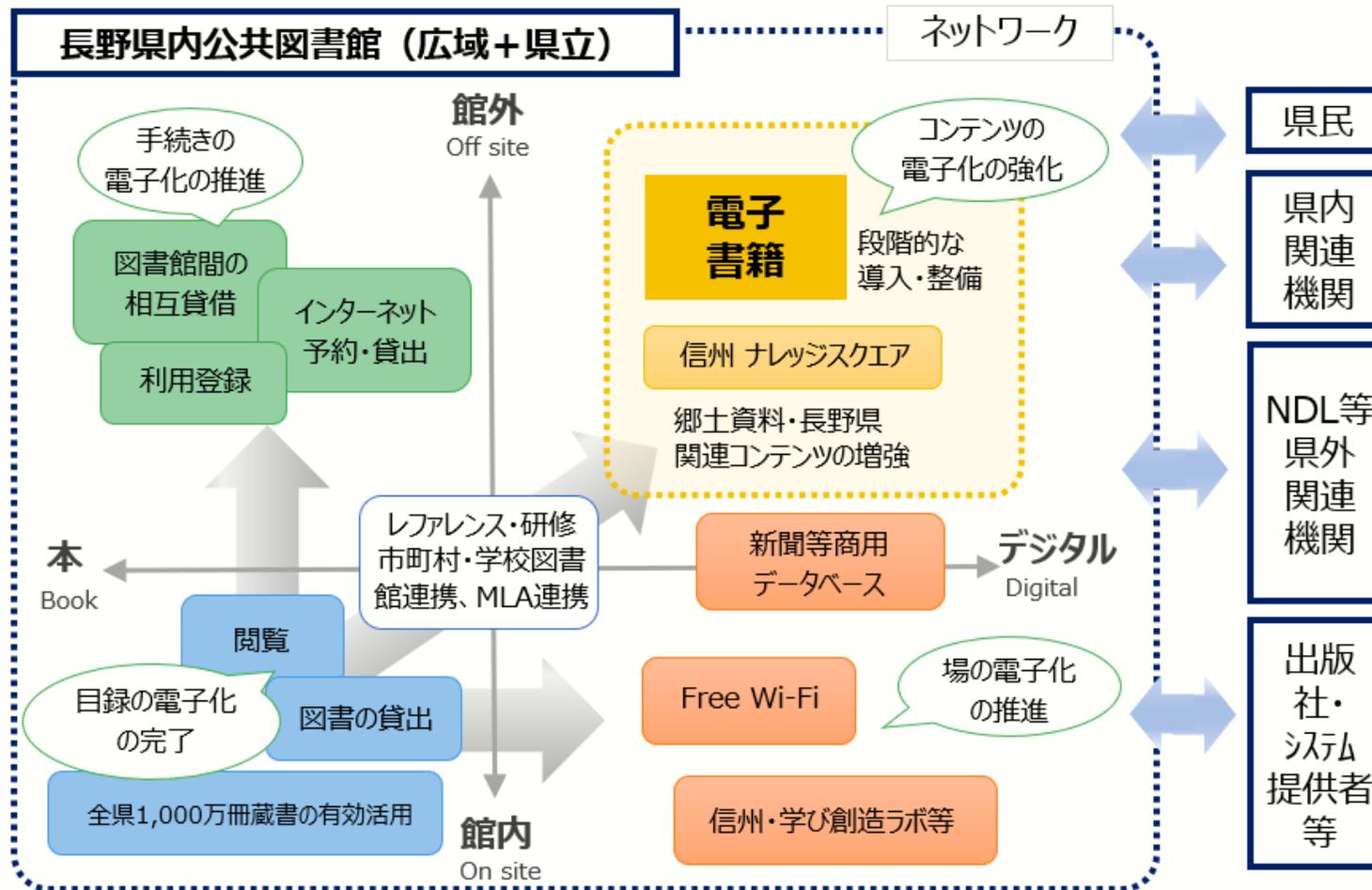
(イ) 「信州デジタル commons」が、様々な分野や地域のデジタルコンテンツを「地域の記憶」として取りまとめているつなぎ役としての活動、多くの連携コンテンツをオープンな利用条件 (CC0) で提供する地域情報の発信と、オープン化推進の活動を評価され、「デジタルアーカイブ・ジャパンアワード」を受賞。

- ・ 「信州デジタル commons」はPDF文書の掲載が可能となり、市町村の行政文書等の掲載など活用の可能性が広がった。引き続き参加団体の増加に努める。
- ・ 「eReading」は松川村、池田町の2町村の地域学習資料を掲載。

(ウ) 市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」を8月5日に同時スタートした。

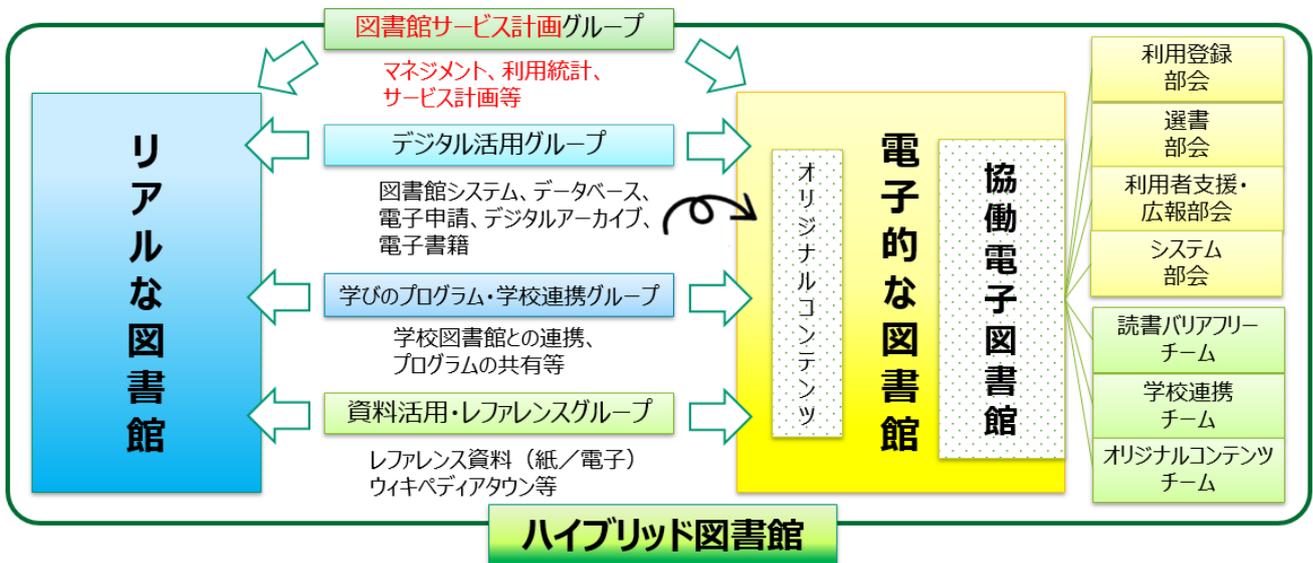
- ・ 「デジとしょ信州」運営状況 (8/5~2/4までの6カ月間)
【利用登録者数】9,984名 (全ての市町村に利用登録者がいる)
- ・ 【蔵書数】計20,936冊 うち、購入(有償)コンテンツ計9,740冊
※宝くじ助成 2千万円を活用
【貸出数】46,036冊 (一日平均約250冊の貸出がある)
最多貸出年代: 40代(22%)、次いで50代(19%)、30・60代(16%)
※夏のデジ田甲子園で5位入賞、「デジタルの日」広報ポスターに採用
- ・ 「県立長野図書館電子書籍サービス」運営状況 (8/5~3/2の実績)
【蔵書数】527冊 うち、9点は企業版故郷納税の寄付により購入
【貸出数】2,607回 (1冊あたり貸出平均 4.9回)

「長野県 eLibrary 計画」概念図

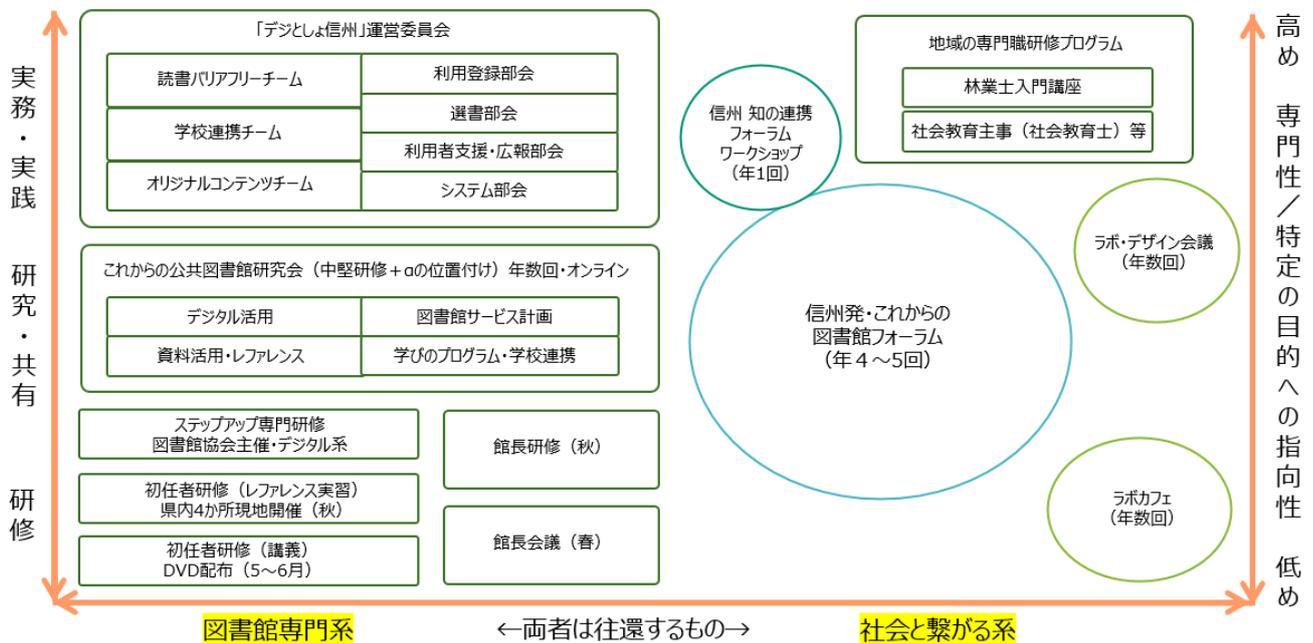


「これからの公共図書館研究会」と協働電子図書館の「部会」「チーム」の関係性

- 「これ研」：持ち寄り学び合いノウハウを共有・研究の場
 - 「部会」「課題解決チーム」：得意分野を活かして運営にかかわる場
- 館を越えたOJT(On the Job Training)の効果に期待



県立長野図書館 研修・実践・イベント・プログラムのマッピング



信州ナレッジスクエアの現況について

1 信州サーチ

- 5コンテンツ追加（令和5年2月）
「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」、「みんなでつくる西部地域デジタルマップ」、「みんなでつくる信州上田デジタルマップ」、「みんなでつくる蓼科学アーカイブ」、「edu スクウェア」

2 信州デジタルコモンズ

- 「デジタルアーカイブジャパン・アワード」受賞（令和4年8月）
様々な分野や地域のデジタルコンテンツを「地域の記憶」として取りまとめているつなぎ役としての活動、多くの連携コンテンツをオープンな利用条件（CC0）で提供している地域情報の発信とオープン化推進の活動とを評価され受賞。
- 「運営規程」、「データ登録に関する確認事項」を以下のページに掲載。
<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/portal/guide.html>
- 新規参加について、以下の団体等から問い合わせあり。
 - 松澤宥アーカイブ
 - 松本フィルムコモンズ
- 「図書館問題研究会長野県支部学習会」（1月21日実施）で資料登録方法説明
- 駒ヶ根市東伊那公民館区誌編集委員への登録方法説明（2月8日）
- 業者委託によりデジタル化を実施した資料（令和3年度末）については、著作権調査が完了したのから漸次公開予定。

3 想・Imagine 信州

- 当館の図書について毎月データを送付して検索対象としてデータ更新
- 「信州デジタルコモンズ」を検索対象とすることについてデータ確認中

4 eReading Books

- 『わたしたちの松川村』（令和4年6月）、『池田ものがたり』（令和4年9月）公開

5 信州ブックサーチ

- 令和4年8月にサービス開始した「デジとしょ信州」、「県立長野図書館電子書籍サービス」収録図書について検索対象に追加
- 飯綱町公民館図書室、大桑村図書館を検索対象に追加

県立長野図書館電子書籍サービス (KinoDen) 2023年8月5日～3月2日 利用実績 (閲覧上位20位まで)

書籍名	出版社	Web閲覧	アプリ閲覧	試し読み(購入済)	試し読み(未購入など)	合計	
1 全国名大辞典	東京堂出版	70	3	0	2	75	2022年8月5日～2023年3月2日の利用状況
2 「会社四季報」業界地図 2022年版	東洋経済新報社	45	6	5	0	56	総貸出数 2,607 回
3 世界の郷土料理事典	誠文堂新光社	41	6	5	0	52	総タイトル数 527 タイトル
4 世界で一番美しい化学反応図鑑	創元社	31	10	0	0	41	1冊あたり貸出平均 4.95 回
5 基本行政法 第3版	日本評論社	3	33	0	1	37	借りられたタイトル 395 タイトル
5 ブルシット・ジョブ	岩波書店	35	2	0	0	37	
5 稼げる農業経営のススメ	築地書館	37	0	0	0	37	9タイトル：企業版ふるさと納税により購入
6 日本刀銘鑑	雄山閣	31	5	0	0	36	
6 武器としての図で考える習慣	東洋経済新報社	28	3	2	3	36	
7 姓氏家系歴史伝説大事典	勉誠出版	33	1	0	0	34	
7 ロジカル・シンキング	東洋経済新報社	30	2	2	0	34	
7 AI・兵器・戦争の未来	東洋経済新報社	34	0	0	0	34	
8 DXの教養	インプレス	13	0	14	2	29	
9 多年生雑草対策ハンドブック	農山漁村文化協会	23	5	0	0	28	
10 入社1年目から差がつく ロジカル・シンキング練習帳	東洋経済新報社	19	8	0	0	27	
10 三省堂年中行事事典	三省堂	26	0	1	0	27	
11 美しき小さな雑草の花図鑑	山と溪谷社	12	14	0	0	26	
12 いかにして問題をとくか	丸善出版	20	5	0	0	25	
13 シゴトがはかどる Python自動処理の教科書	マイナビ出版	22	2	0	0	24	
13 完璧を求める心理	金子書房	19	1	0	4	24	
14 LGBTQの子どもへの学校ソーシャルワーク	明石書店	4	19	0	0	23	
14 日本の食生活全集	農山漁村文化協会	23	0	0	0	23	
14 思考法図鑑	翔泳社	3	10	0	10	23	
14 藩史大事典 新装版	雄山閣	23	0	0	0	23	
15 地図の事典	朝倉書店	22	0	0	0	22	
15 比較から読み解く日本国憲法	法律文化社	6	8	6	2	22	
16 日本の野鳥識別図鑑	誠文堂新光社	20	1	0	0	21	
16 地域で暮らせる雇用	旬報社	5	11	5	0	21	
16 どんぐりハンドブック	文一総合出版	16	5	0	0	21	
16 関係人口の社会学	大阪大学出版会	14	0	6	1	21	
16 Python機械学習プログラミング 第3版	インプレス	18	1	0	2	21	
16 とときめく雲図鑑	山と溪谷社	18	2	1	0	21	
16 「差別はいけない」とみんないうけれど。	平凡社	3	18	0	0	21	
16 AI×地方創生	東洋経済新報社	21	0	0	0	21	
17 これからの男の子たちへ	大月書店	1	19	0	0	20	
17 ママ&パパにつたえたい子どもの病気ホームケアガイド	医歯薬出版	16	4	0	0	20	
17 真田幸村歴史伝説文学事典	勉誠出版	12	8	0	0	20	
18 人生100年時代の医療・介護サバイバル	築地書館	5	0	11	3	19	
19 APG原色樹木大図鑑	北隆館	18	0	0	0	18	
19 土のひみつ	朝倉書店	18	0	0	0	18	
20 日本語大事典	朝倉書店	17	0	0	0	17	
20 スキルアップ! 情報検索 新訂第2版	日外アソシエーツ	15	0	0	2	17	